

問 8 会話文読解

(本文の日本語訳)

二人の生徒、マサト、カナ、ルミが放課後、教室で話をしています。その時アメリカ出身の彼らの英語の教師、グリーン先生が教室に入って来て彼らに話しかけます。

グリーン先生：やあ、みなさん。何をしていますか。

マサト：クロスワードパズルを解いています。

グリーン先生：面白そうですね。私に見せてください。

カナ：どうぞ。

グリーン先生：おや、2番と5番をまだやっていませんね。難しいのですか。

マサト：それほどではないです。問題2番は「私はあなたをうまく（ ）できませんでした。もう一度言ってください。」です。問題5番は「私にあなたのメールアドレスを（ ）してください。」です。私たちは2番の答えは「hear (聞く)」、5番の答えは「tell (言う)」だと思っています。しかし、10番に「lend」を入れると、それらの答えを2番と5番に入れることができません。

グリーン先生：10番の質問は何ですか。

ルミ：「彼は町のいくつかの場所を訪れるために店で自転車を（ ）予定です。」です。初め、私たちは、答えを「borrow (借りる)」だと思いましたが、それだと文字数が多すぎるのです。だから私たちは「lend」を入れました。

グリーン先生：なるほど。残念ながら、みなさんは「lend」の意味を誤解したのだと思います。「lend」は「borrow」と反対の意味です。

マサト：ああ、そうですね。それなら、その単語を4番に入れることができます。「私はこの本を読み終えた後、あなたに貸します。」で合っていますよね？

グリーン先生：そのとおりです。10番の答えは「rent (借りる)」です。

カナ：「rent」とは何ですか。私はその単語を知りません。どんな意味ですか。

グリーン先生：英語の「borrow」とほとんど同じ意味です。しかしこれらの単語を同じように使うことはできません。例えば「あなたの鉛筆を借りてもよいですか」と言う時には「borrow」を使うことができます。問題10番について考えてみましょう。彼はその町のいくつかの場所を訪れるために自転車を使いたい、そして彼はお店にお金を支払わなければならない。

ルミ：それなら、わかりました。例えば、友人の鉛筆をお金を払わずに使う時には「borrow」と言い、「車を借りる」のようにお金を払って何かを使う時には「rent」と言うのですね。だから10番の答えは「rent」、2番が「hear」、5番が「tell」です。

グリーン先生：正解です。

マサト：そういう単語はたくさんあります。実は、このパズルは適切な単語の使い方を学習するためのものなんです。例えば、問題1番と6番の答えは「see」と「watch」です。これら2つの単語を日本語で言うと、両方とも「見る」ですが、英語では、これらを同じように使うことはできません。

グリーン先生：まさにそのとおりです。「watch TV」と言いますが「see TV」とは言いません。

カナ：「watch」と「see」の違いはわかります。しかし、「see」と「meet」の違いはわかりません。私たちは8番の答えを「meet」だと思っていますが、私はその違いをよく理解していません。例えば、「Nice to meet you」と「Nice to see you」を同じように言うことはできませんか。

グリーン先生：できません。あなたたちはいつ「Nice to meet you」という文を学びましたか。

マサト：中学校でブックワンの本を学習し始めた時に学びました。

グリーン先生：何か思い出してくれると嬉しいのですが。

カナ：ああ、思い出しました。初めて誰かに「会う」ときに「Nice to meet you」と言うことができると学びました。私は、誰かに再び「会う」ときに「Nice to see you」を使うのだと思います。つまり、例えば友達で友人の一人にあった時には「Nice to meet you」ではなく「Nice to see you」と言います。そうですね。

グリーン先生：はい、そうです。それでは「speak」と「talk」の違いはどうでしょうか。

マサト：それらの2つの単語は僕には難しいです。「talk English」ではなく「speak English」と言わなければならないことは知っています。しかし、それがなぜなのかは知りません。

グリーン先生：「talk」を用いる時には、誰かとのコミュニケーションが重要になります。例えば、あなたは今日のサッカーの試合についてお兄さん(弟)と「talk (話す)」します。しかし「speak」という単語の主な意味は言葉を「声に出す」ことです。なので、私は「あなたは日本語を話しますか。」と尋ねられると「はい。でも私は、自分の生徒たちと talk する (話す) 時にはいつも、日本語でなく英語を speak します (話します)。」と常に言っています。

マサト：先生が「私は自分の生徒と talk する (話す) 時」と言う時は、生徒とのコミュニケーションが重要で、「私は英語を speak する (話す)」と言う時には、英語を使うことが重要なのですね。じゃあ、3番「私は英語の先生と英語で（ ）したいです。」には「talk」を入れ、9番「あなたは何個の言語を（ ）することができますか。」には「speak」を入れることができます。正しいですよ。

グリーン先生：正しいですよ。もう一つの例があります。もし、「今朝、電車で男の子が私に spoke してきた (話しかけてきた)。」と言ったら、あなたはその男の子を知らない、ということになります。もしその男の子が友達なら「今朝、電車で友人の一人が私に talked してきた (話しかけた)。」と言うべきです。

ルミ：それは面白い。先生の授業でそういうことをもっと学びたいです。

グリーン先生：わかりました。そういったことをみなさんに教えましょう。

マサト：ありがとうございます、グリーン先生。ここで先生と話したおかげで、僕たちはパズルの半分以上を終えることができました。今、僕たちは日本語にすると同じ意味でも、使い方が異なる英単語がいくつかあることがよくわかりました。しかし僕は英語と日本語の違いについてよく考えます。例えば、英語では、文を作る時に主語を省いてはいけませんが、日本語ではよく省きます。

グリーン先生：そうですね。日本語を学び始めた頃、私はそれを知って驚きました。

ルミ：私は英語の文について考える時、いつも語順が違うと思います。英語は、主語が最初に来て、動詞が続く、そのあとに目的語が来ます。しかし日本語は、目的語が動詞の前に来ます。

グリーン先生：まさにそのとおりです。私は中国語と韓国語も学びました。中国語の文は英語のような語順ですが、韓国語の文は日本語のような語順です。

カナ：本当ですか。私は日本語が非常に独特で、他の言語は英語に似ているのだと思ってました。

グリーン先生：いいえ。世界には日本語と同じ語順の言語が多くあります。また、韓国語の文法は日本語の文法に似ています。だから韓国語を学ぶことはみなさんにとっては英語を学ぶことより簡単かもしれません。

ルミ：その話は聞いたことがあります。私の姉は大学で韓国語を学んでいます。多くの人が韓国語を学ぶのは日本人にとってそれほど難しくないと言うので、姉は韓国語を学び始めました。初め、姉はそれが正しいと思いましたが、韓国語の本を読もうとした時、簡単ではありませんでした。それで姉はとても一生懸命韓国語を勉強しています。

グリーン先生：どんな外国語でも難しいものです。いくつかの言語において、日常会話ができるかもしれませんが、それと、それらの言語をマスターすることは同じことではありません。ただ、それらに興味を持っていれば、学び続けることができます。だから私は、みなさんに英語に興味を持ち、楽しんで英語を学んでほしいです。

マサト：僕たち3人は英語がとても好きで、学び続けています。

グリーン先生：それを聞けてとても嬉しいです。